

# みんなの環境

第16号 2008年5月15日

編集/発行 あつぎ環境市民の会

[http://www.geocities.jp/atsugi\\_kankyo/](http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/)

## 平成20年度の事業計画の概要をお知らせいたします

4月1日、あつぎ環境市民の会・平成20年度定時総会が開催されました。

出席者は25名でした。狩野光子代表の挨拶に続き、議長に青砥航次氏を選出、議事に入りました。

平成19年度事業実施報告および収支決算報告、続いて平成20年度事業計画案および収支予算案の提案説明があり、それぞれについて意見を交換し、各議案について採決の結果、全員異議なくこれを承認、ここに平成20年度総会は終了いたしました。

決定した「あつぎ環境市民の会・平成20年度事業計画」の概要は次の通りです。

### あつぎ環境市民の会 平成20年度事業計画

平成20年	4月	環境学習会（第1回）、定時総会、自然再発見・春の里山
	5月	自然再発見・荻野川の野鳥
	6月	環境学習会（第2回）、NO <sub>2</sub> 測定・市内25ヶ所
	8月	環境学習会（第3回）、夏休み子供教室・依知南公民
	10月	環境学習会（第4回）、厚木市環境フェア
	11月	野生動植物保全フォーラム
	12月	NO <sub>2</sub> 測定・市内25ヶ所、環境学習会（第5回）
平成21年	1月	みんなの環境展2009
	2月	環境学習会（第6回）
	3月	おいしい味噌作り

## 新事業として環境学習会を取り上げました

4月、6月、8月、10月、12月、2月に開催する環境学習会は、環境学習の第一歩は身近な環境を知ることからという趣旨で行う今年度新たに取り上げた事業です。

また、環境学習支援等で外部より要望・要請があった場合には柔軟に対応したいと考えておりますので、決まった時点で計画にそれが追加されます。それぞれの活動の具体的な趣旨・内容、実施期日、場所、時間等は決まり次第、チラシおよび本紙「みんなの環境」等でお知らせいたします。

あつぎ環境市民の会は、着実に市民に浸透しつつあります。会員の皆様のこれら活動への積極的な参加、ご支援、ご指導、よろしくお願いいたします。（事務局：山中延明）

## 第1回 環境学習会

### 清らかな河川を守るために

県央総合センター環境保全課長・青山尚巳氏が講演

4月1日、第1回環境学習会を県央総合センターの出前講座、《県央の清らかな河川を守るためにできること》を環境保全課課長・青山尚巳氏からご講演いただきました。



河川の水質事故の実態を解説する青山氏

県央地域の様々な水質事故の現状を知り、散歩していても川の汚れが気になるようになってしまいました。何しろ県央地区の河川は県民の命の飲み水となっている意識は今まであまりありませんでした。

平成19年度、1月末までにパトロールや、市民の通報等による水質事故は37件あり、約70%が事業者の雨水側溝の不備や、作業の不注意による油の流出、タンク清掃による残留塩素の流出、不法投棄の自動車からの油の流出など様々な要因によるものだそうです。

県央地区は大切な水源地区になっているにも関わらず、事故が多いというお話でした。市民が出来ることとしては汚水を側溝に流さない。水源水が海に流れ着くまでの情報を知っておく大切さなどをご講演いただきました。

参加した会員からも活発な質問や要望、意見など交わされ有意義な学習会となりました。

(狩野光子)

## 第2回 環境学習会 予告

市内にある相模大堰や寒川取水堰も見学し意識を深めて参りたいと思いますが、私たちが日々の生活の中で出来ることはないかを学ぶため、次回、6月3日の第2回環境学習会には『石けんづくりを進めて感じたこと』と題し、地元で長いこと『水』の啓発を中心に活動されています「さわやか会」代表・毛木一江さんをお招きしご講演いただきます。

お誘いあわせの上ご参加下さいますようご案内申し上げます。

### 第2回 環境学習会

#### 『石けんづくりを進めて感じたこと』

講師 さわやか会 代表・毛木一江氏

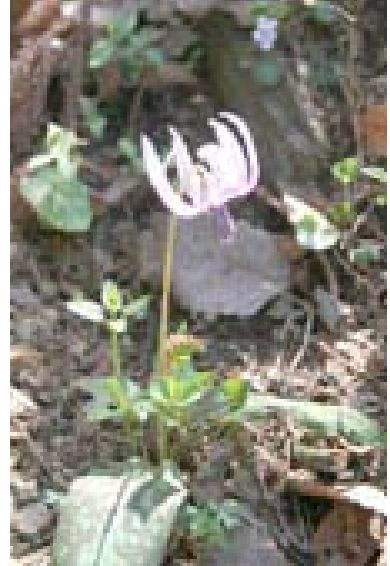
日時：6月3日(火) 午後6時

場所：厚木市勤労福祉センター

ボランティアサポート室 2階会議室

主催：あつぎ環境市民の会 お問い合わせ (224-5010 狩野)

## ～私たちの活動～① うららかに『春の里山』 観察会



上 春うらら。満開のソメイヨシノを背にさあ出発

左 カントウミヤマカタバミ 関東南西部、伊豆半島、東海地方東部に分布する。

右上 カタクリ 自生地の個体数は激減している。大事にしたい。

4月6日(日)、講師として仲間の青砥航次さんが田尻→丸山→海底→平山→勝楽寺→用野 を案内してくださった。 好天に恵まれ桜が満開、遠近山の木々毎に新芽濃淡色が多様な樹林を連想させる春霞につつまれていた。

のどかな素晴らしい里山は、もし、ここに舗装がなければ映画のロケ地にもなりえるのではないかと思うほどだ。昔懐かしい風景に参加者8名は、至福の時を過ごした。こんな風景が厚木に残っていることは環境市民として自慢である。

### 見聞植物

- ・ カラスノエンドウ・イチリンソウ・ニリンソウ・モミジイチゴ・カタクリ・シキミ
- ・ サクラ (ヤマザクラ、ソメイヨシノ、シダレザクラいろいろ)・ヤマルリソウ・マンサク・キブシ・ヒメオドリコソウ・オオイヌノフグリ・ナガバノスミレサイシン
- ・ カンアオイ・カントウミヤマカタバミ・ヤマブキ・ネコノメソウ・コナラ・ビナンカズラ
- ・ イヌシデ・ムベ・ユズリハ・ヒメウズ・コクサギ など

### 見聞動物？

- ★ アブラハヤ ★ガビチョウ ★ウグイス ★ツマキチョウ ★モンシロチョウ
- ★ モンキチョウ

携帯顕微鏡での花卉観察は、この世に実在するとは思えないほど、美しいミクロの世界を覗かせていただき感激した。

(高橋弘毅)

この機関紙にみなさんの環境への思いや情報を載せましょう。原稿は随時受け付けています

## ～私たちの活動～② 荻野川で野鳥観察会



櫻井武氏のご案内で荻野川沿いを歩く

「あっ！潜った」と誰かが言った。「あれはカイツブリです」と講師の櫻井武氏が即座におっしゃった。5月10日の荻野川の野鳥観察会の一コマです。8時30分に荻野運動公園を8名で出発しました。氏のわかりやすい解説で小雨降る荻野川の自然を楽しみました。コースは弁天橋～広町公園（「厚木荻野の里へようこそ」で検索可）の間です。羽が茶色のカイツブリは水辺の鳥でどんなところでも繁殖するということです。対岸の葦の生え際にある巣の上にいると指し示してくれました。なかなか見えませんが、ちょっと動いたのでわかりました。銅座橋のところの取水堰の真ん中でカワウが羽を広げていました。「羽を広げているのは、メスにア

ピールしているのか、縄張りを主張しているのか、羽を乾かしているのかはわかりません」とのことでした。「カワウとウミウの違いは、・・・・」ということでしたが、筆者には点線のところは頭に残っていません。荻野川右岸で運動公園下のところにある高さ15m位のユリノキ(百合の樹)の花が満開でした。チューリップのような形で大きさもほぼ同じ花なので「チューリップツリー」と呼ばれるそうです。そのほかいろいろ観察できました。自然観察では、鳥や草木などの名前や生態などがわかると途端に面白くなるものです。荻野川の今回のコースは自然が豊富であると教えてくれましたが納得できました。

(藤田 実)

### 環境情報を「あつぎ地域SNS」でも発信します

厚木市のホームページ、マイタウンクラブのあつぎ地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)が3月14日より運用を開始しました。

あつぎ環境市民の会では、同サイトを利用したブログを開設しました。初日は、5月10日に行われた荻野川野鳥観察会の案内をアップしました。これからも随時、あつぎ環境市民の会の活動やお知らせ、環境情報を発信します。

閲覧のアクセス手順は、厚木市HP→マイタウンクラブ→地域コミュニティ→キーワード検索→あつぎ環境市民の会と入力し検索→あつぎ環境市民の会をクリック→地域SNSマイページをクリック。コメントの書き込みにはID番号とパスワードの入力が必要です。

SNSの詳しい操作法は地域の公民館にガイドブックが用意されています。また、厚木市のHPから「操作マニュアル」がダウンロードできます。

(長岡 恂)

### みんなの環境 第16号 2008年5月15日発行

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 狩野光子  
電話/FAX 046-224-5010 e-mail: [mitsuko-karino@ayu.ne.jp](mailto:mitsuko-karino@ayu.ne.jp)  
製作 長岡 恂 e-mail: [jun.nagaoka@nifty.com](mailto:jun.nagaoka@nifty.com)  
事務局 〒243-0817 厚木市王子2-14-3 山中延明 方  
電話/FAX 046-224-9693 e-mail: [ANA40480@nifty.com](mailto:ANA40480@nifty.com)  
郵便振替口座 00200-7-132779 (年会費2000円)

(C)あつぎ環境市民の会 2008